

東京湾海況情報 29-9

東京湾水質調査結果（平成29年12月）

（平成29年12月11日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 12/4：内湾(ふさなみ)、内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(12/4)、東京湾口海況図(12/4)
 モニタリングポスト（12/4：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）
 神奈川県水産技術センター（12/4）

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温は12.7～16.4℃で平年より1.0℃低め～1.1℃高めでした（図1）。
 塩分は28.2～32.6で平年より0.7低め～0.3高めでした。

内房海域の表層水温は15.0～19.7℃で平年より0.3℃低め～0.7℃高めでした。塩分は32.2～34.3で平年より0.3低め～0.2高めでした。

塩分33.5以上の水塊が内湾中央部（st. 3）の底層までみられました（図2, 3）。
 ※平年との比較は主な調査点（表1）で行いました。

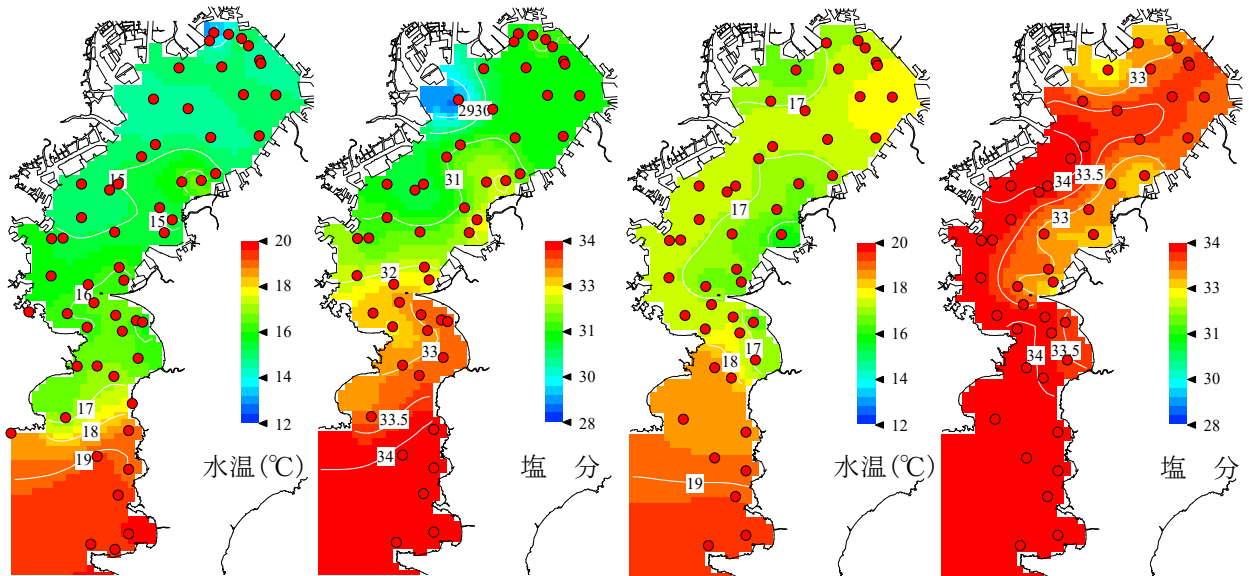


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

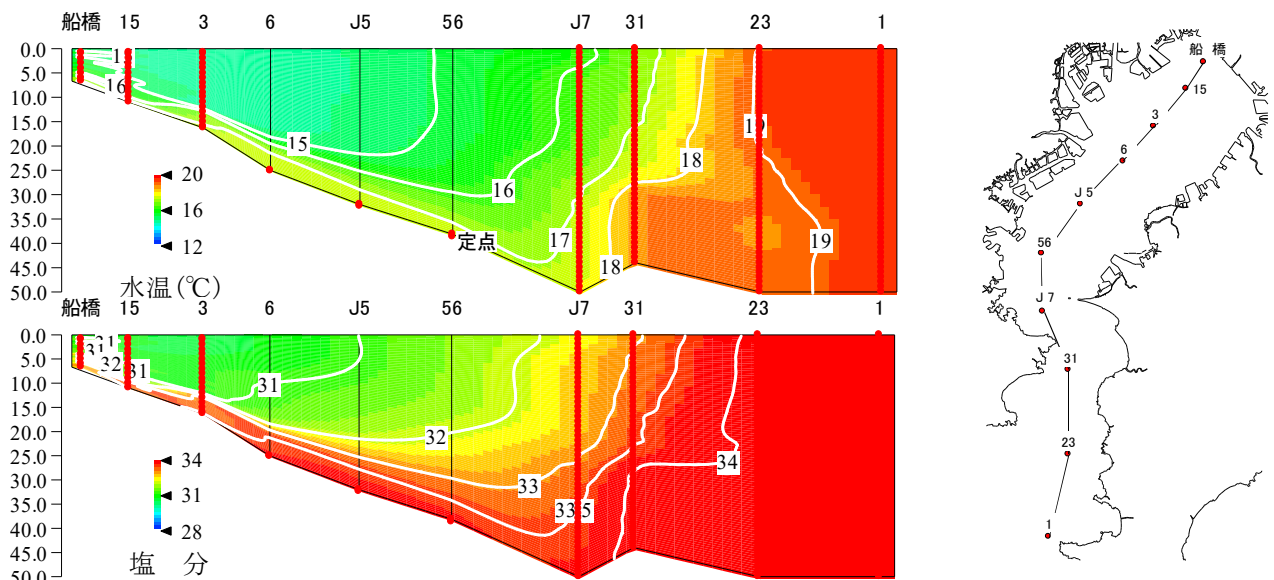


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布（上：水温、下：塩分、右：調査ライン）

【 赤潮の状況 】

透明度は3.0～19 mで、赤潮は確認されませんでした (図4)。

内湾のプランクトン優占種は珪藻アステリオネロプシス、キートセロス、スケルトネマでした。

内房海域のプランクトン優占種はアステリオネロプシス、キートセロス、スケルトネマ、ステファノピクシス、タラシオシラでした。

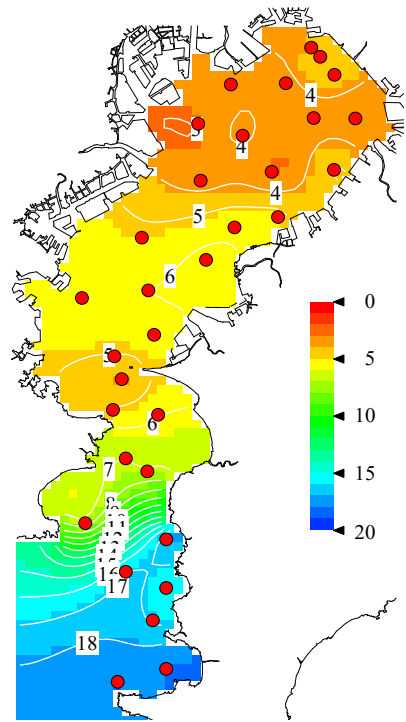


図4 透明度の分布(m)

※ 千葉県赤潮の目安は次のとおりです。

- 色 : オリーブ～褐色
- 酸素飽和度 : 150%以上
- 透明度 : 1.5m以下
- pH : 8.5以上
- クロロフィルa : 50 μg/L以上

【 貧酸素水塊の状況 】

貧酸素水塊は船橋～幕張沖で見られました (図5, 6)。

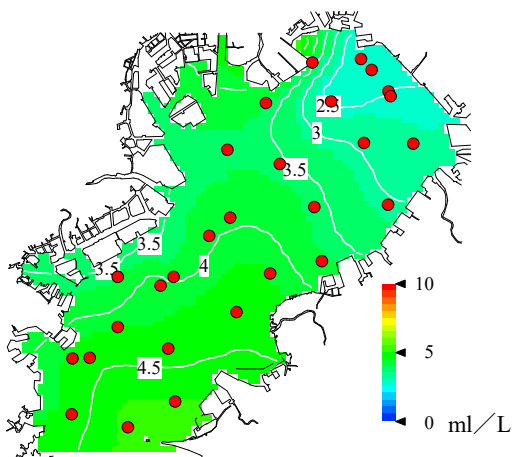


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

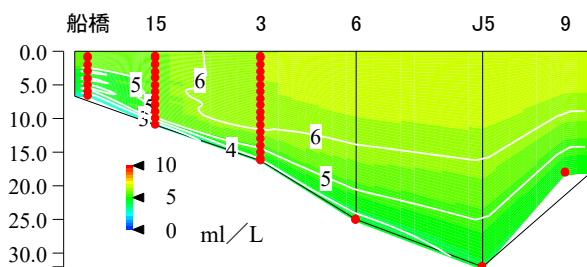


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内表層の窒素(DIN)は34～1047 μg/Lで平年の51～112%でした(図7)。

湾内表層のリン(DIP)は5.7～62.6 μg/Lで平年の38～122%でした。

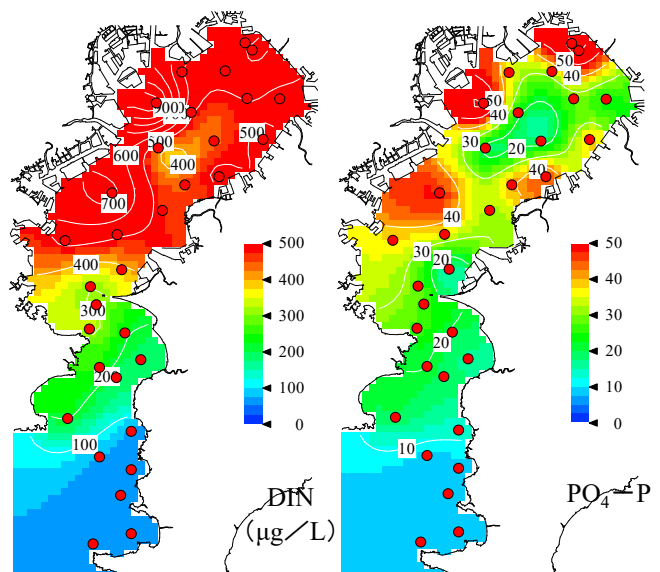


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は遠州灘沖を大きく南下し、御蔵島まで北上した後、房総沖を北東に流れるA型流路でした(図8)。

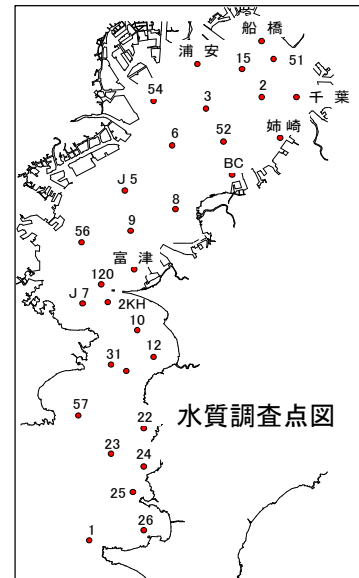
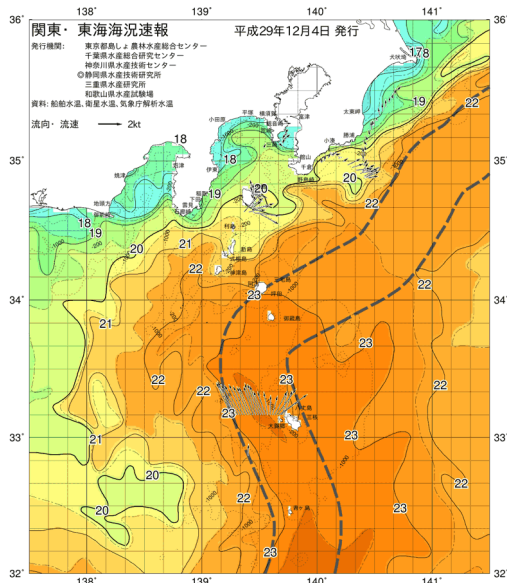


図8 黒潮の動き (平成29年12月4日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2007~2016年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存 酸素量 (ml/L)	アンモニ ア態窒素 (µg/L)	溶存無機 態窒素 (µg/L)	リン酸態 リン (µg/L)	
内 湾	船 橋	15.5 (14.4)	31.4 (31.1)	4.3 (4.5)	8.1 (8.2)	2.2 (4.9)	143.2 (138.9)	574.0 (594.7)	62.6 (52.9)
	st.15	14.5 (14.6)	30.6 (31.2)	3.8 (4.5)	8.3 (8.2)	2.5 (4.7)	43.3 (116.2)	537.5 (558.6)	32.4 (45.2)
	st.3	14.2 (14.7)	30.4 (30.6)	4.2 (5.2)	8.4 (8.2)	3.6 (4.6)	12.1 (115.1)	528.1 (635.8)	22.8 (43.4)
	st.6	14.7 (14.8)	31.0 (31.1)	3.6 (6.4)	8.4 (8.2)	3.8 (4.4)	5.6 (90.9)	415.2 (542.0)	17.3 (39.4)
	st.9	15.2 (15.3)	31.3 (31.7)	6.0 (7.0)	8.3 (8.2)	4.3 (4.7)	56.6 (67.0)	499.5 (445.0)	32.9 (35.7)
	st.BC (盤洲Cブイ)	15.2 (16.2)	31.1 (31.7)	5.3 (5.3)	8.2 (8.2)	3.7 (4.7)	80.2 (86.0)	520.9 (483.8)	46.0 (38.5)
	st.8 (盤洲A南)	15.1 (15.4)	31.1 (31.8)	6.2 (5.6)	8.3 (8.2)	4.3 (4.3)	38.3 (78.4)	474.1 (441.7)	30.7 (37.0)
	富 津	16.0 (15.6)	32.1 (32.1)	5.5 (5.0)	8.2 (8.2)	4.7 (4.8)	55.4 (71.2)	381.1 (387.4)	12.2 (32.4)
内 房 海 域	st.2KH (第2海ほ下)	16.5 (15.9)	33.0 (32.8)	4.0 (6.3)		18.9 (46.1)	285.7 (290.5)	24.9 (26.9)	
	st.31	16.6 (16.7)	33.0 (33.1)	7.0 (10.6)		15.4 (28.3)	233.4 (245.1)	20.0 (23.3)	
	st.23	19.2 (18.6)	34.2 (34.0)	17.0 (16.8)		0.6 (11.1)	48.1 (95.0)	7.2 (11.2)	
	st.1	19.6 (18.9)	34.3 (34.2)	19.0 (15.2)		0.0 (10.1)	38.4 (71.1)	5.8 (8.7)	
	st.10 (下洲沖)	16.4 (16.5)	32.9 (33.2)	6.0 (7.6)		10.6 (34.6)	204.1 (240.4)	19.1 (22.7)	
	st.12 (湊沖)	16.2 (16.5)	33.2 (33.4)	欠測 (6.2)		7.1 (19.6)	172.2 (183.0)	14.9 (17.9)	
	st.22 (保田沖)	18.8 (18.6)	34.2 (34.1)	18.0 (12.7)		3.0 (6.2)	45.4 (83.7)	11.4 (9.4)	
	st.24 (富山沖)	19.0 (18.9)	34.2 (34.1)	16.0 (13.4)		0.0 (3.7)	41.3 (68.6)	7.0 (8.6)	
st.26 (館山湾内)	19.7 (19.0)	34.2 (34.2)	19.0 (11.7)		0.0 (5.8)	34.1 (61.7)	6.0 (7.7)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。